



2023年 2月10日
第134号

JR 東労組 Yokohama

JR東労組横浜地本

発行人 助川一実

編集 情宣担当

ホームページ

<http://www.ireu-yokohama1.jp/>



福知山線脱線事故前夜のJR東日本 vol. 7

本人がハラスメントを訴え配慮を求めたにもかかわらず
懲罰的日勤教育を正当化するためにさらに運転士を追い詰める！

当該運転士は病院の診断により病欠に！

横地申15号の第1回団体交渉後の2月3日の午後から、作成したパワーポイントを掘り下げるということで、「事故・事象とは関係のない社員・社会人のマインド教育」が再び始まりました。当該運転士は、ハラスメント行為を行った区長や管理者のいる内勤室での業務を命じられ、心身が耐え切れなくなり、体調不良で急遽年休を取りました。

その翌日、病院に行ったところストレスを原因として10日間前後の休業加療が必要と診断されました。これが、会社のいう「適正な指導の範囲」なのでしょう。

職場や団体交渉の中でも本人がハラスメントを訴え、ハラスメント加害者との接触もないよう配慮を求めてきた中で、その声を無視しあえて今までの懲罰的日勤教育を踏襲する会社姿勢は異常と言えます。

配慮なき指導により
病欠へ追い込む
異常な事態を許さない！

再三再四 配慮すべきと指摘してきたのにも関わらず、ハラスメントを認識しないばかりが精神的かつ懲罰的の教育を再度行い、精神的苦痛を与え、追い詰め、病欠に至った今回の会社の対応は、断じて許すことはできない。

会社は2020年2月をもう忘れたのか？
皆さんに訴えます

健康的に働くことのできる職場でいいんですか？
社員と社員の家族の幸福が実現できなくていいんですか？
職場で悔し涙する覇気のない仲間の姿を見ていたいですか？
2020年2月を私たちはもう繰り返したくありません。

健康的に働くことのできる職場
乗務員をバックアップできる元の職場
みんなで声をあげた方がいい、みなで支えていこう

国府津運転士会

社員の声に耳を傾けず自らの行為を反省しない、それどころか
自らの行為を正当化するために社員の命も軽んじる会社で大丈夫か？！